



このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。

注意
この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

コピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

保証書 (持込修理)
本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	SVE-27
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	対象部分 検器本体(消耗品を除く) お買い上げの日から 1年
お客様	お名前 様 ご住所 〒 TEL()
販売店	店名 様 住所 上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。
修理メモ	(症状をなるべく詳しくご記入ください。【故障内容】【取り付け車種・年式】)

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

ご愛用者アンケートにご協力ください

携帯(iモード/Vodafone live!/EZweb対応)またはパソコンから、お答えください。

①「メール会員登録」をしてください。(登録無料)
② 宛先に『yupiteru@mo-on.com』、件名または本文に「会員」と入力し、メールを送信してください。
③ しばらくすると、確認のメールが返信されますので、登録画面にしたがって、必要事項を入力してください。

宛先
yupiteru@mo-on.com

件名
会員

本文
会員

※迷惑メール対策で、ドメイン指定受信を設定されている方は、弊社からの確認メールのために、『@mo-on.com』からのメールを受信できるように設定してから、メールしてください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取り付け・接続説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。

4. 保証期間内でまたの場合は有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に使用する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

水をかけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

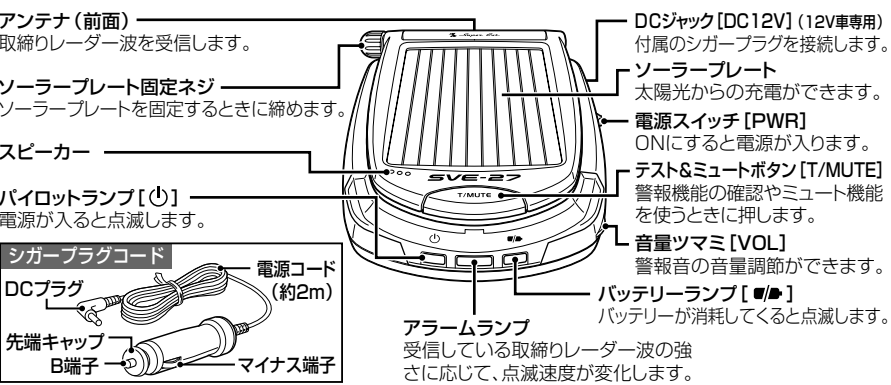
取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

各部の名称とはたらき



主な特長

- 1 iDSP*1**
統合的デジタル信号処理技術(iデジタル)により、超高精度識別を実現。
*1… Integrated Digital Signal Processing Technology
- ①ステルス識別…通常波と区別して、音(ニアミスアラーム)&光(アラームランプ)でお知らせ。
②新Hシステム対応…新Hシステムに対しても、音(通常の電子音)&光(アラームランプ)でお知らせ。
- 2 SUPER/スーパー感度**
より遠くの取締りを検知するスーパー感度。
・Wスーパーヘテロダイン…スイープオンシター式超高精度受信方式。
・フリップチップinアンテナ…高周波基板へのアンテナ接続による損失を極小に抑えたオリジナルチップ搭載で高感度を実現。
[特許 第3229564号]
・X・Kツインバンド…Xバンド/Kバンドの2バンド対応。
・後方受信…後方からのレーダー波も確実にキャッチ。
- 3 アラーム**
①電子音アラーム…狙い撃ち式のステルス波も、通常波と区別してニアミスアラームで警報。
- ②Wアラーム方式…音(電子音)&光(アラームランプ)のダブルで警報。
③接近テンポアップシステム…取締り機に近くに従い、電子音がテンポアップ。
④ミュートボタン…受信を確認後はワンタッチで警報音をカット。
- 4 自動制御**
①オートディマ…レーダー波の受信が約30秒以上続くと、アラームランプなどが自動的にライトダウン。
②オートクワイアット…レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が自動的にボリュームダウン。
③オートパワーOFF…駐車後、電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源OFF。(振動を検知すると、自動的に電源ON)
④ローバッテリーアラーム…バッテリーの充電が必要になると、音&光のダブルでお知らせ。
- 5 その他**
・ロングライフ設計[特許 第2075785号]
・環境にやさしいニッケル水素電池内蔵
・12V車専用
・2電源方式：ソーラー&シガー
・取付：サンバイザー/ダッシュボード直付け

ご使用にあたって

使用上のご注意

■一部の車種に採用されている断熱ガラスの中には、電波の透過率が低く、探知距離が短くなるものがあります。
■本機のDCジャックの入力電圧は、12V専用です。24V車(バス、大型トラックなど)での使用はできません。

付属品
■ご使用前に付属品をお確かめください。



このレーダー探知機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。レーダー方式以外の赤外線や光電管式、ループコイル式などのスピード測定装置には反応しません。また、電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輪通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。
※探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

サンバイザーに取り付ける

1 付属のサンバイザークリップを本体に取り付ける
本体底面の穴にしっかり差し込んでください。

3 取り付け角度を調整する
道路に対して水平に、また、アンテナが進行方向を向くようにする。

2 助手席側のサンバイザーに挟み込む

4 ソーラープレートの角度を調整する

※一部の厚みのあるサンバイザーや特殊な形のサンバイザーへの取り付けが出来ないことがあります。

※ソーラープレート固定ネジをゆるめて、太陽光がよく当たるような角度に調節し、しっかりネジを締めてください。

注意
ソーラープレートの角度を調節するときは、必ずソーラープレート固定ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

※フロントガラスがスモークやサンシェード付きで、太陽光が十分に当たらない場合は、ダッシュボードへの取り付けをおすすめします。

ダッシュボードに取り付ける

1 付属のダッシュボード取付用マジックテープを本体底面に貼り付ける

2 対になっているマジックテープでダッシュボードに貼り付ける

3 ソーラープレートの角度を調整する

※レーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
※あらかじめ貼る場所のチリや汚れ、油分をよく落とした後、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの粘着力を弱めます。

警告
エアバッグの上に取り付けけないでください。万一のとき動作したエアバッグで飛ばされ、事故やケガの原因となります。

電源について

※通常は、シガープラグコードを接続せずに使用できます。

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラープレートによる太陽光からの充電ができます。

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。(走行中、駐車中にも太陽光から充電されますが、気象条件、使用環境に左右されないより確実な初期充電を行うことができます)

■ソーラーバッテリーの充電と使用方法

電源ボタンの入/切に関係なく充電できます。1度充電したあとは、シガープラグを抜いて、そのままお使いください。(シガープラグで充電する場合、ローバッテリーアラームが鳴った状態から約15時間でフル充電できます。フル充電したあとは、まったく充電されない状態でも、無警報時で約50時間の連続使用ができます)

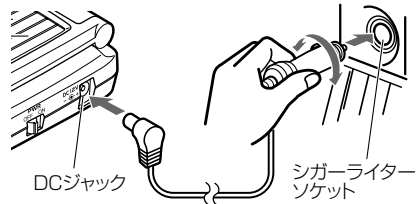
ローバッテリーアラーム機能について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続くバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、アラーム音が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。



シガーライターソケットからの充電と使用方法

付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込むシガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



⚠警告

！ 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

■オートパワー OFF 機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。(その後、振動を検出すると電源が入ります)※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。※ 走行速度が非常に遅い場合や渋滞のときなどの一時的な停車であっても、振動を検出できない状態が約3分間続くと、オートパワーOFF機能により、自動的に電源が切れることがあります。

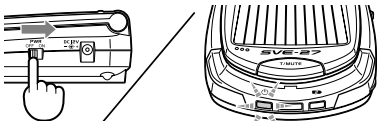
一旦、電源スイッチをOFFにし、付属のシガープラグコードを接続して充電してください。約3分以上経過後は、電源スイッチをONにし、ローバッテリーアラームがしないことを確認してから、充電しながらご使用ください。

音量 / 受信感度を設定する

※設定は必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。

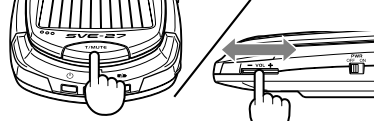


確認音 (㇏)ピロッピロッ...が数秒間鳴り、パイロットランプが点滅します。

※ 節電のため、パイロットランプは点滅で動作します。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。



押している間はテストモードとなり、警報音が鳴り続けます。

※テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。

受信感度について

本機はハイレベルな受信性能のスーパー感度に固定されています。

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

レーダー波の受信が約30秒間続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプも暗くなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパー感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ターン・オン・ビーブ

電源入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



警報機能について

本機は統合的デジタル信号処理技術により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うニアミスアラームでお知らせします。[ステルス識別] また、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しても通常波と同様に警報します。[新Hシステム対応] ※ステルス識別はステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

Wアラーム方式

音(電子音)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近に応じて変化します。

ステルス型取締り機について

ステルス型取締り機は他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して、速度の測定ができる狙い撃ちの取締り機です。従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しが警報されません。

- 警報が約30秒間続くと、警報音が小さくなり、アラームランプも暗くなります。
- ニアミスアラームは、ミュート機能により、一時的に消すこともできます。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

取締り機(電波の種類)	警報音
ステルス型取締り機 (必要なときのみ、短時間発射される狙い撃ち的な連続波)	ニアミスアラーム(ピロッピロッピロッピロッ...)が鳴ります。
通常取締り機(常時発射されている連続波)	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。
新Hシステム<新型オービス>(常時発射されている、種類の異なる電波)	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

仕様

電源電圧 : DC3.6V(ニッケル水素電池 1.2V×3)
DC12V(シガープラグ入力充電電圧)
消費電流 : 待機時 5mA以下
最大 50mA以下(電子音アラーム時)
受信方式 : スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数 : Xバンド、Kバンド

動作温度範囲 : -10℃～+85℃
(充電可能温度範囲 : -5℃～+85℃)
本体外形寸法 : 62(W)×25(H)×90(D)mm(突起部を除く)
本体重量 : 102g

※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法(追尾方式)

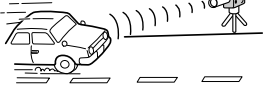
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。※本機は後方受信しますが、この追尾方式は電波を出していませんので、受信および警報することはできません。

2. 距離と時間で算出する方法(光電管式、ループコイル式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。※これらの方式は電波を出していませんので、受信および警報することはできません。

3. 電波を使って算出する方法(レーダー式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。



アフターサービスについて

1. 保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体とシガープラグコードをご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源スイッチがONになっていますか。 ●バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ●オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	●太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 ●シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	●電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 ●警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ●オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 ●取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(特にオービスⅢではよくあります) ●取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
取締りもしないのに警報機能が働く	●ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ●取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ●まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。 〈取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器〉 ・電波式の自動ドア、防犯センサー ・気象用レーダー、航空レーダーの一部 ・信号機の近くに設置されている車輛通過計測機 ・他のレーダー探知機の一部 ・NTTのマイクロウェーブ回線の一部
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	●レーダー波の受信が約30秒以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるために、警報音が小さくなり、ランプ類が暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能) ●カットダウンモードでは警報音がはじめて小さくなったり、すぐに警報音が小さくなったりする場合があります。

●ユピテルご相談窓口一覧 お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒453-0053 愛知県名古屋市中区東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。